

平成23年度 横浜弁護士会人権賞受賞決定者

1	カラカサン～移住女性のためのエンパワメントセンター	設立/生年月日	平成14年12月7日
		略歴	2007年 神奈川県ボランティア活動奨励賞受賞
		表彰事項	主にDV被害に遭った移住（外国籍）女性やその子どもたちのための生活支援・法律支援活動。
		推薦理由	DV被害女性とその子どもたちの緊急一時保護後の自立支援は、ここ数年のDV施策においても大きな課題とされているが、移住（外国籍）被害女性への自立支援に至っては、行政の支援は現実的には皆無に等しい。その中で、相談や訪問、ワークショップや交流などの諸活動により、移住女性や子どもたちの居場所やコミュニティづくりを通じた当事者相互の関わりあいの中でのエンパワメント（奪われた尊厳とちからの回復）を支援するカラカサンの活動は、全国的にも例のないユニークな取り組みと考える。また、多様な文化的背景をもち、DVの目撃経験や家庭の崩壊など、複合的な困難を抱えた移住女性の子どもたちを対象としたカラカサンの活動は、先駆的な取り組みとして、他地域でも実践のモデルとなりうるものである。
2	特定非営利活動法人 神奈川県子ども未来ファンド	設立/生年月日	平成15年4月
		職業/職種	特定非営利活動法人
		略歴	平成15年4月 設立 平成19年4月 認定NPO法人として国税庁から認定を受ける。
		表彰事項	子どもや青年、子育て中の親を支援する市民団体を助成している。
		推薦理由	日本で初めて、市民団体が集まって子どもをテーマに設立された基金である。平成16年以降、31団体（延べでは57団体）に対して、総額23,599,000円の助成を行ってきた。